

平成28年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 公明党函館市議団

伝票番号 31

代表者	経理責任者	支出年月日	区 分	
		平成28年10月4日	事務費	
支払先			支払金額	
富士ゼロックス北海道株式会社			¥13,314	
摘要 (品名)		数量	単価	金額
カウンター料金代(9月分)		1	13,314	13,314

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

領 収 証

HKX-1026233

公明党函館市議団 様

金額 ¥13,314 ※

カウンター料金代

但し

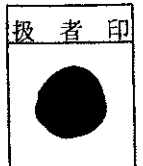
平成 28 年 10 月 04 日



上記の金額正に領収いたしました。

現金・小切手	¥	※
振 込	¥	※
手形・相殺	¥	※
計	¥	13,314 ※

札幌市中央区大通西6丁目1番地  
富士ゼロックス北海道株式会社



(本証に社印および抜者印の無いもの、並びに金額の訂正したものは無効です。)

参考様式第1号

平成28年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 公明党函館市議団

伝票番号

32

代表者	経理責任者	支出年月日	区 分
		平成28年10月4日	事務費
支払先 富士ゼロックス北海道株式会社			支払金額
			¥20
摘要 (品名)		数量	単価
カウンター料金代(9月分)		1	20
			金額
			20

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

領 収 証

HKX-1026382

公明党函館市議団

様

金額

¥20 ※

カウンター料金代

但し

平成 28 年 10 月 04 日

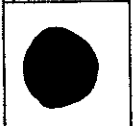
収  
入  
印  
紙

上記の金額正に領収いたしました。

現金・小切手	¥	※
振 込	¥	※
手形・相殺	¥	※
計	¥	20 ※

札幌市中央区大通西6丁目1番地  
富士ゼロックス北海道株式会社

扱 者 印



(本証に社印および扱者印の無いもの、並びに金額の訂正したものは無効です。)



参考様式第1号

平成28年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 公明党函館市議団

伝票番号

33

代表者	経理責任者	支出年月日	区 分	
		平成28年10月4日	事務費	
支払先			支払金額	
日立キャピタルNBL株式会社			¥11,340	
摘要 (品名)		数量	単価	金額
ゼロックス複写機リース料(10月分)		1	11,340	11,340

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

No. 27471

発行日 2016年11月1日

# ◇ 領 収 証 ◇

公明党函館市議団 御中

ご契約番号 : 

ご契約者名 : 公明党函館市議団

¥11,340-

(税抜き ¥10,500-)



---

但 リース料として

2016年10月4日 上記金額正に領収いたしました

  
日立キャピタル NBL 株式会社

東京都港区西新橋一丁目3番1号 西新橋スクエア

発行部署名	検印	担当印
カスタマーサービスセンター		

※金額を訂正したものと及び会社印並びに検印のないものは無効とします。

※再発行は致しません

28年度 政務活動支出伝票（旅費）

会派名 公明党函館市議団

伝票番号

34

旅行承認年月日		代表者	経理担当者	支払年月日	区分
平成28年10月3日				平成28年10月21日	・調査研究費 研修費
No.	氏名	金額		受領印	受領年月日
1	松宮健治	27,889円			平成28年10月21日
2					
3					
4					
支払合計金額			27,889円		_____
◇旅行の目的 『北海道サステナビリティウィーク・国際セミナー「アジアと北極海行路～変貌する北極海域とアジア研究者による学際的研究の動向～」』に参加するため					
◇用務地 札幌市					
旅行の日程			旅費の内訳（1人当たり）		
10/25	函館市～札幌市（前日泊）		路線バス，私鉄		
10/26	札幌市～函館市		J R	15,220円	
			航空賃		
			日当	6,000円	
			宿泊費	6,669円	
			参加費	無料	
			その他/パック		
			合計	27,889円	

※領収書等は，別紙に貼付のこと（重ならないように留意）

◇研修会、意見交換会、報告会等の会議（開催・参加）の概要

区 分	内 容	
会議等の名称	北海道大学サステナビリティウィーク・国際セミナー「アジアと北極海航路～変貌する北極域とアジア，欧州とアジア研究者による学際的研究の動向～」	
会議等の目的	最近注目を集めている「北極海航路とアジア」の関係について，学際的な研究の成果等について学ぶ。	
日 時	平成28年10月26日（水） 10：00～12：00	
場 所	北海道大学／北キャンパス／創成研究棟5F／セミナールーム（札幌市）	
出席者	出席議員氏名	松 宮 健 治
	講師等の氏名	クリストファー・デント（リーズ大学）他
	その他参加者	30人
支 出 内 訳		金 額
旅 費	27,889円 × 1	27,889円
参加費	無 料	0円
合 計		27,889円

# 出張報告書

平成28年11月14日

公明党函館市議団

代表 茂木 修 様

出張者氏名 松宮 健治



下記のとおり出張したので報告いたします。

## 記

1 出張期間	平成28年10月25日 ～ 平成28年10月26日 (2日間)
2 用務地	① 10月26日 札幌市
	②
	③
	④
	⑤
3 出張概要	<p>□北海道大学 サステナビリティウィーク 国際セミナー「アジアと北極海航路～変貌する北極域とアジア，欧州とアジア研究者による学際的研究の動向～」に参加のため</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・期間 平成28年10月25日～平成28年10月26日 (2日間)</li><li>・場所 北海道大学 北キャンパス 創成研究棟5F セミナー室 (札幌市北区北21条西10丁目)</li><li>・主催 リーズ大学／東アジア政治経済研究所，北海道大学／北極域研究センター，北海道大学G I - C O R E北極域研究グローバルステーション</li><li>・後援 (一社)寒地港湾技術研究センター，北海道経済同友会</li></ul>
4 所見	別紙のとおり
備考	

## ■研修報告

北海道大学サステナビリティウィーク／国際セミナー「アジアと北極海航路～変貌する北極域とアジア，欧州とアジア研究者による学際的研究の動向～」

### □研修内容

北極海を横断して大西洋と太平洋を結ぶ航路は，大航海時代から探検，科学調査が繰り返され，沿岸国の商船や観測を目的とした調査船など限定的に利用されてきたが，近年，夏期における北極海の海水減少とともに，新たな海上輸送ルートとして国際的に注目を浴びている。

この北極海航路を利用すると，アジアと欧州北部や欧州ロシアの間は，最短の海上ルートで結ばれ，既存のスエズ運河ルートと比較して概ね4割の距離が短縮となり，輸送日数だけでなく，燃料消費量の削減や温室効果ガス排出量の削減の効果が期待される場所である。

北海道においては，北極海航路を活用した物流ルートを本道に導き，道内の港湾が，我が国，さらには東アジアの「拠点」になることも期待されているところである。北海道では，今年2月に「北極海航路の利活用に向けた方針」を策定している。

この中で，函館市は「航行船舶の支援拠点」と位置づけて，本市の函館ドック造船所の造船及び修繕ドックとしての機能を高く評価している。

以上のことを踏まえて，以下の各発表者の発表を伺った。

- ・ Aki Tonami (日本，筑波大学)  
「日本・中国におけるインフラ投資の比較研究」
- ・ Xiaonan, Hongjian and Li (中国，中国社会科学院)  
「CGE分析による北東航路の世界経済への影響の研究」
- ・ Outi Luova (フィンランド，Turku University)  
「日本海（東海）における北極海航路のハブ，新たな動機と既往の計画」
- ・ Jae-Seung Lee (大韓民国，高麗大学)  
「北極海航路に関するリスクマネジメントと新たな挑戦」

英語での発表であり，私の拙い英語力では全てを理解できたとは限らないが，どの国の研究者も様々な角度から，北極海航路の利活用について掘り下げた研究していると思われた。

特に，「日本海（東海）における北極海航路のハブ，新たな動機と既往の計画」の発表は傾聴に値し，大きな示唆をいただいた。つまり，日本海は北極海航路のハブになるとの指摘は，驚きであった。幸いにして，函館市は，津軽海峡を通過して，日本海にも太平洋にも直ぐに向かうことができる。函館ドックもあり，「航行船舶の支援拠点」としての機能を遺憾なく発揮することができる。

今後の市政の場においては，北極海航路の利活用についての研究を深め，「航行船舶の支援拠点」としての位置づけを明確にして，本市の産業振興に資するように質していきたいと思っている。





国際セミナー

## アジアと北極海航路

～変貌する北極域とアジア、欧州とアジア研究者による学際的研究の動向～

主催：リーズ大学 東アジア政治経済研究所、北海道大学 北極域研究センター、  
北海道大学 GI-CoRE 北極域研究グローバルステーション

後援：(一社)寒地港湾技術研究センター、北海道経済同友会

<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/2016/jp/aica/>

専門家ワークショップ Oct. 26<sup>th</sup> 10:00-12:00

北海道大学 北キャンパス 創成研究棟 5F セミナールーム

公開セミナー Oct. 26<sup>th</sup> 14:00-16:30

北海道大学 遠友学舎談話室

北極海航路の長期的な活用は、多くの環境的、経済的、地政学的、気候的、社会的、ならびに国家政策的な要因に強く由来しており、学際的・多面的視点から考えることが必要となっています。本セミナーは、アジア・北米・欧州の多様な研究者が協働し、前記のような特性をもつ北極海航路に関し、アジア地域の政策ならびにその背景を中心とした研究成果を紹介し、研究の社会的実装をはかると同時に、参加者からの反応を今後の研究にフィードバックすることを企図しています。

午前のセミナーは専門家を対象に英語で開催し、発表とディスカッション、午後のセミナーはより一般の参加者を想定し、研究成果の紹介を主体に日本語の逐次通訳を提供し、質疑の時間も設けて開催します。

本研究は、英国リーズ大学クリストファー・デント教授を代表とする英国・フィンランド・スウェーデン・ノルウェー・インド・日本・韓国・中国の研究者からなる研究チームによる、国際政治・安全保障・経済・海軍・地政学・環境などの学際的分野のネットワークのもとで進められている、欧州・アジア・ロシアの地域研究の成果を紹介するものです。研究の概要については、Web サイトにて公開されています(<http://asiachangingarctic.com/asia-nsr>)。研究目的と概要は、

- アジアにおける、北極海航路の価値・戦略・対応等に関する知識と理解を深める。
- 北極海航路による環境影響と北極の持続的利用に関する知識と理解を深める。
- 北極海航路に関連する分野横断的な研究ネットワークの構築とアジアの動向の分析。
- 北極海航路に関し、政策決定者への適切な情報と知見の提供。
- 学際的研究成果の社会実装。

## プログラム

### 1: 専門家ワークショップ (英語)

10月26日, 10:00-12:00, (北海道大学 北キャンパス 創成研究棟 5F セミナー室)

司会: クリストファー・デント (リーズ大学)

発表:

- Aki Tonami: **Comparative study on the infrastructure capitalization of Japan And China**  
日本・中国におけるインフラ投資の比較研究
- Xiaonan, Hongjian and Li: **CGE Analysis of Potential Impact of the Northeast Passage on Global Economics**  
CGE分析による北東航路の世界経済への影響の研究
- Outi Luoma: **Hubs of the Arctic Route in the Sea of Japan (East Sea). Old Plans with New Vigour**  
日本海(東海)における北極航路のハブ、新たな動機と既往の計画
- Jae-Seung Lee: **Risk Management and New Challenges for the Northern Sea Route**  
北極海航路に関するリスクマネジメントと新たな挑戦

### 2: 公開セミナー (英語、日本語逐次通訳)

10月26日, 14:00-16:30, (Hokkaido University Sustainability Week)

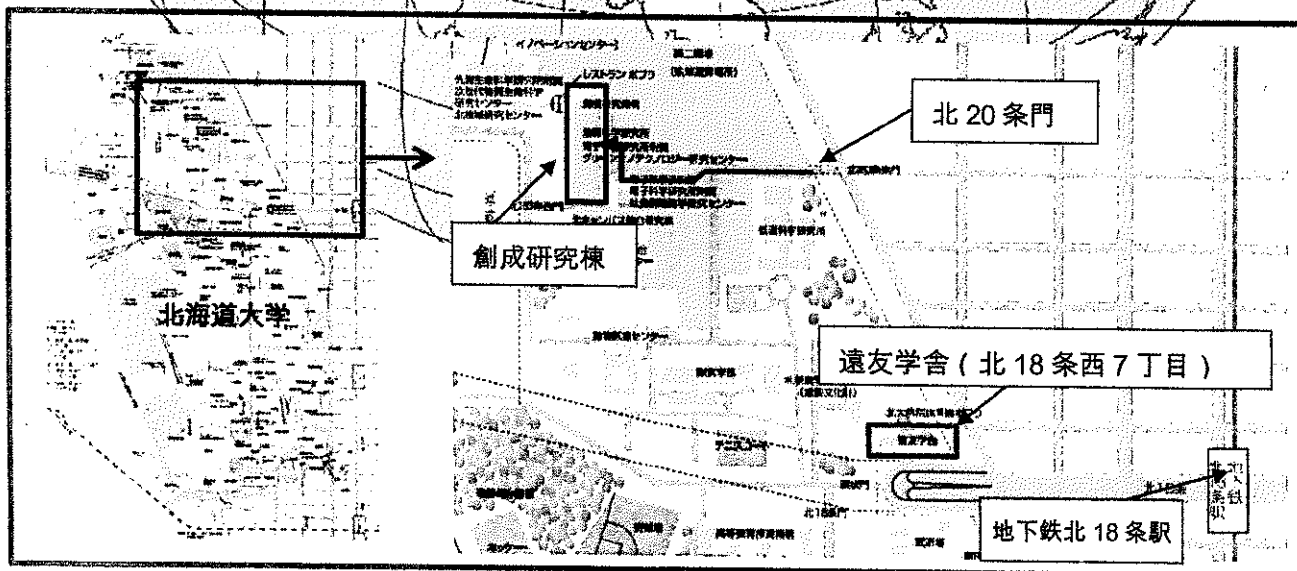
司会: 大塚夏彦 (北海道大学)

発表:

- Christopher Dent : **Asia and the Northern Sea Route from the Grand Frontier Infrastructure Perspective**  
アジアと北極海航路～壮大な辺境のインフラ展望
- Liisa Kaupila: **Hot Spots of Northeast Asian Regional Collaboration in the Arctic: The Role of Chinese Multilevel Actors** 東アジア地域間協力のホットスポット北極における
- Xiaonan, Hongjian and Li: **CGE Analysis of Potential Impact of the Northeast Passage on Global Economics**  
CGE分析による北東航路の世界経済への影響の研究
- Natsuhiko Otsuka : **Perspective of the NSR from recent activities**  
近年の動向から見た北極海航路の展望
- Jae-Seung Lee: **Risk Management and New Challenges for the Northern Sea Route**  
北極海航路に関するリスクマネジメントと新たな挑戦

Program 2016年10月26日、10:00~12:00、14:00~16:30

<b>アジアと北極海航路</b> ~変貌する北極域とアジア、欧州とアジア研究者による学際的研究の動向~	
<b>専門家ワークショップ</b> 10:00-12:00	北極海航路、アジア地域の開発、北極政策等に関する研究発表と質疑。言語：英語
<b>会場</b>	北海道大学 北キャンパス 創成研究棟 5F セミナー室 札幌市北区北21条西10丁目
<b>公開セミナー</b> 14:00-16:30 言語：英語 日本語逐次通訳あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Perspectives of the NSR and energy resource development</li> <li>▪ Asian interests and policies in the NSR</li> </ul> 北極海航路を中心とした北極の持続的開発ならびにアジア地域における動向等に関する発表と質疑。
<b>会場</b>	北海道大学 遠友学舎 談話室 札幌市北区北18条西7丁目
<b>発表者(TBC)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Prof. Christopher Dent (University of Leeds, Britain)</li> <li>• Dr. Aki Tonami (Tsukuba University, Japan)</li> <li>• Dr. Outi Luova (Turku University, Finland)</li> <li>• Ms. Liisa Kauppila (Turku University, Finland)</li> <li>• Prof. Jae-Seung Lee (Korea University, Korea)</li> <li>• Assistant Prof. Taedong Lee (Yonsei University)</li> <li>• Prof. Natsuhiko Otsuka (Hokkaido University, Japan)</li> <li>• Dr. CONG Xiaonan (Chinese Academy of Social Sciences, China)</li> </ul>
<b>申込・お問合せ</b> (011-706-9625, 大塚)	右記まで "natsuhiko.otsuka@arc.hokudai.ac.jp" お名前、御所属、御職名、連絡先メールアドレスをご記入の上、ご送信ください。会場の都合上、事前申し込みされた方を優先いたします。



**領 収 証**  
(RECEIPT) No. 120895-11

(印 紙) 氏名 公明党市議団 様

クレジットカードの場合は不要

金額	億	千	百	十	千	百	十	円
				4	0	5		0

ただし 1. JR券 2. 航空券 3. 宿泊券 4. レンタカー  
5. 国内旅行パック 6. 海外旅行パック  
7. 定期券 8. その他 ( )

平成 16 年 10 月 26 日 上記の金額領収致しました

(注) 金額を訂正したもの、取扱者印又はサインのないものは、無効でございます。

現金	¥
クレジット	¥
カード会社名	日専連 JCB VISA UC DC MASTER その他( )
旅行券	¥
銀行振込	¥
	¥

北海道旅客鉄道株式会社  
Hokkaido Railway Company  
〒060-8644 札幌市中央区北1条西4丁目1番1号  
発行箇所 **函 館 駅** 取扱者

**領収書**  
RECEIPT

〒060-0806  
北海道札幌市北区北六条西1-4-3

TEL 011-728-1045 FAX 011-728-1046  
東横INN札幌駅北口

お名前 <u>公明党函館市議団 様</u>				
客室番号 (ROOM No.) 1126	人数 (PERSONS) 1	ご到着 (ARRIVAL) 16. 10. 25	ご出発 (DEPARTURE) 16. 10. 26	備考 (REMARKS)
日付 (DATE) 10. 25	摘要 (EXPLANATION) 預り現金 宿泊料		料金 (CHARGE) 6, 669	お支払 (PAYMENT) 6, 669
小計 (SUBTOTAL)			6, 669	残高 (BALANCE) 0
ご署名 SIGNATURE	収入印紙		ご請求額 AMOUNT DUE	0
会社名 FIRM			現金	

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。  
Thank you for your stay with us.  
May we have the pleasure of serving you again.

最安値宣言!! 公式HP予約なら ¥300 OFF  
予約はこちら [toyoko-inn.com](http://toyoko-inn.com)



内消費税  
INNER TAX 494 (税 8%)  
C/O-No. 83816-1-01 16/10/26  
C/O-CD 7

平成28年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 公明党函館市議団

伝票番号

35

代表者	経理責任者	支出年月日	区 分
		平成28年10月24日	事務費
支払先 NTTファイナンス株式会社			支払金額
			¥1,769
摘要 (品名)	数量	単価	金額
FAX回線使用料(10月分)	1	1,769	1,769

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

電話料金等払込受領証  
東日本ご利用分

ご請求先氏名  
公明党函館市議団  
茂木 修 様

お客様番号  
[REDACTED]

2016年10月ご請求分  
金額(円)  
¥1,769-

受取人  
NTTファイナンス株式会社

お問合せ先 (無料)  
0800-3330111

領 取 日 附 印  
16.10.24

収入印紙貼付欄  
(金融機関・CVS用)→お客様



NTTファイナンス株式会社  
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

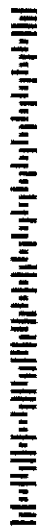
発行年月日 2016年10月17日発行  
発行会社 NTTファイナンス株式会社

料金センター  
お問合せ先 0800-3330111 (無料)

〒983 仙台市宮城野区原町6丁目 日本  
-8691 郵便物 仙台東郵便局私書箱8号  
社用コード J20021311001 00836 00830 00 0  
61 000000 1 0 161003010



00836



016102101045094122

請求書 (東日本ご利用分)

041-0843  
函館市花園町22-2

公明党函館市議団 茂木 修 様

日頃、NTTファイナンスをご利用いただきまして誠にありがとうございます。  
下記に記載の料金をご請求させていただきますので、お支払期限までに裏面に記載されている場所でお支払いをお願いします。 ( 1 / 2 ページ)

お客様電話番号等 (BILLING NUMBER) お客様番号 (CUSTOMER NUMBER)	請求年月 (MONTH OF ISSUE)	ご請求金額 (TOTAL AMOUNT)	お支払期限 (DUE DATE)
0138-31-0370	2016年10月ご請求分	1,769円	2016年10月31日(月)

[NTTファイナンスからのお知らせ]

\*\*\* NTTグループ各社ご請求金額 \*\*\*  
NTT東日本分ご請求額  
(合計) 1,769円

\*\*\* NTTファイナンスからのお知らせ \*\*\*  
請求書 (払込取扱票) 表記の口座記号番号は、お客様振込用の口座番号ではございませんのでご注意ください。  
なお、料金の支払いについては、払込取扱票の裏面に記載しております弊社指定の「お支払方法」でお支払いください。

料金のお支払は、便利な「口座振替」又は「クレジットカード」を是非ご利用下さい！  
お支払方法の変更はNTT東日本HPが便利です。→「NTT東日本 支払方法」で検索下さい。

\*\*\* NTT東日本からのお知らせ \*\*\*  
「フレッツ光」の料金プラン「にねん割」はご請求内訳に記載の「解約金がかからない期間」を過ぎると自動更新されます。  
自動更新後の契約期間は24ヵ月です。自動更新をご希望されない場合はNTT東日本へご連絡が必要となります。  
詳しくはフレッツ公式ホームページの「サービスのお問い合わせ」  
(<https://flets.com/customer/contact.html>) をご確認ください。  
なお「解約金がかからない期間」以外での「フレッツ光」の解約は、  
解約金 [戸建て向けサービスの場合9,500円(税抜)、集合住宅向けサービスの場合1,500円(税抜)] がかかります。

↓Tの部分を切り取り、当社指定のコンビニエンスストア、金融機関、ゆうちょ銀行・郵便局、ドコモショップへお持ち込みをお願いします。  
Cut off the strip below and use it when paying the charges at one of our designated convenience stores, a financial institution, a post office, a docomo shop.